

# 現新三つどもえ

## 三島市長選告示 候補者が第一声

右から届け出順



石井 真人 (39) 無新

経営コンサルタント会社社長▽浜松工業会副支部長▽三島ゆうずい会理事▽慶大院



宮沢 正美 (69) 無新

園県議▽市ソフトボール協会会長園市子ども会連合会長▽市議▽自民党園連幹事長▽韭山高



豊岡 武士 (75) 無現②

美しい伊豆創造センター代表理事▽県観光協会副会長園県職▽園議▽日本獣医畜産大

## 三島の宝生かし街づくり

私はこの三島をどうしても守りたい。駅前が高層マンションを建てる三島の計画がある。51億円の借金を子どもに回す。そんなことを許していいのか。このままでは三島が駄目になる。

三島には楽寿園がある。こんな緑に恵まれた駅前はない。桜川の

## 駅南北自由通路の開設を

市民が主役の市政の実現のために立候補した。市民一人一人と向き合い、声を受け止め市政運営をしていく。公平公正な市政を実現する。議会の議論も深まらないという声も聞く。次の時代に向かっていける新しい行政システムを作る。

## 駅前開発で持続的発展を

三島は元気があると言われるようになった。さらに輝き、持続的に発展できる三島にしなければと決意を新たにしている。まずは観光だ。三嶋大社をはじめとする素晴らしい観光資源を生かす。多くの多々の観光客に来てもらい、三島にお金を落としてもらうよ

任期満了に伴う三島市長選が9日告示された。立候補したのは、いずれも無所属で、新人で経営コンサルタント会社社長の石井真人氏(39)▽新人で元園議の宮沢正美氏(69)▽現職で3選を目指す豊岡武士氏(75)の3人。石井氏は三島駅南口で、

【石川宏、中村隆】

解決するお金がなくなってしまう。経営感覚を持って、この街を10年、20年、30年守れる街にしたい。今我々が正しい選択をしなければならぬ。

ここにいらっしゃる皆さんとなら、明るい未来を切り開いていける。少子高齢化の時代でも、良い街づくりができる。他人に任せては良い街づくりはできない。三島の未来を守るため、1週間、全力で頑張る。

い世代、子どもにかかっている。伊豆の玄関口として広域連携を進める。地域全体が盛り上がるのが三島の発展につながる。

市長選の争点は三島駅の南口。市民が一番望むのが三島駅南北自由通路の開設実現だ。もう一度、三島駅の南口のあり方をしっかり考え、市民の意見を聞き、南北自由通路の実現を中心に据えて、南口再開発のあり方にしっかりと取り組む。

三島駅前の開発を進める。30年来の懸案だったが、西街区にはホテルが建設されている。東街区は広域健康医療拠点として多くの人が喜んでもてるよう努力する。定住促進のマンションも計画されている。駅前開発で三島の持続的発展ができて考えている。子どもから高齢者まで三島に育ってよかったという三島にしなければならぬ。